



講習会を担当した  
神谷弥生救急看護認定看護師

講習会后の子供たちの感想です

もし、自分の周りの人が急に倒れてしまったら、  
こわくて心臓マッサージが出来ないかもしれない。  
でも少し勇気を出して、挑戦してみれば一人の  
命が助かるかもしれない。  
そう思うと少しの勇気はとても大切なんだと思  
いました。

・AEDでたくさんの命が  
すくえるということが分かった。  
・心は痛いっせん死で  
たくさんの命がせくなると  
いうことを知ってこわいな  
と思った。  
・もしもたおれている人が  
いたら、勇気をもって行動  
したいと思った。  
・とてもいい  
経験になった！

■2018. 5. 28

半田市内 13 校の小学 5 年生を対象に「いのちの授業」をしています。当院の医師・看護職員が小学校に出向き、いのちの大切さを伝えています。その授業を継続しつつ、平成 29 年度から小学 6 年生を対象に【小学校 BLS 講習会】を始めました。2 つの小学校から依頼があり、一次救命処置(心肺蘇生: BLS と AED の使用など一連の手順)の方法を伝えることが出来ました。

講習を受けた小学生らがこれから先、胸骨圧迫や AED を使って 1 人でも多くのいのちを救ってほしいと感じました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。